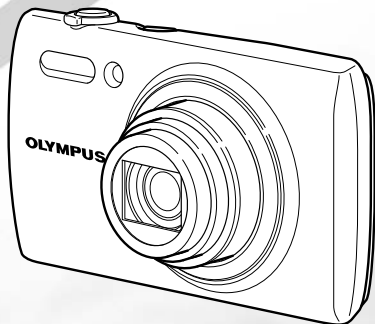
OLYMPUS®

デジタルカメラ

VH-510

取扱説明書

- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前に良くお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは実際の製品とは異なる場合があります。

箱の中身を確認する

デジタルカメラ

ストラップ

リチウム
イオン電池
（LI-50B）

USB-AC
アダプタ
（F-2AC）

USB ケーブル
（CB-USB7）

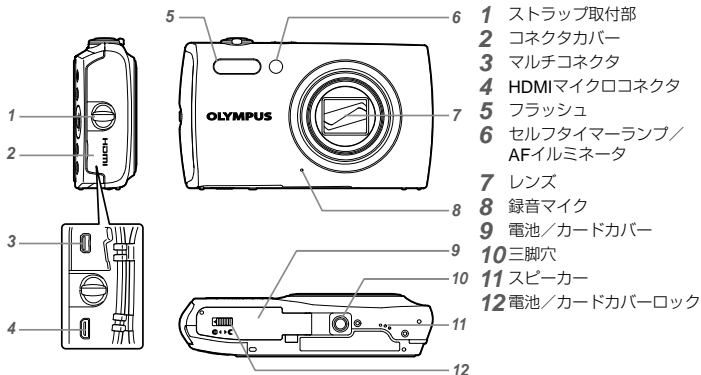
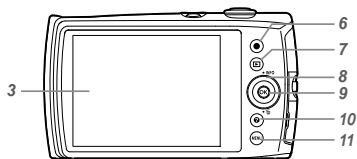
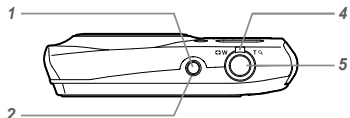
AV ケーブル
（CB-AVC5）

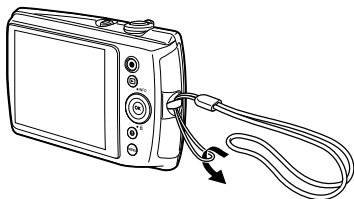
OLYMPUS
Setup CD-ROM

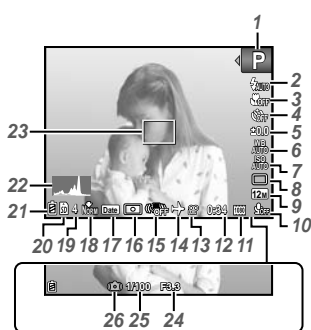
その他の付属品 : 取扱説明書（本書）、保証書

各部の名前

カメラ本体

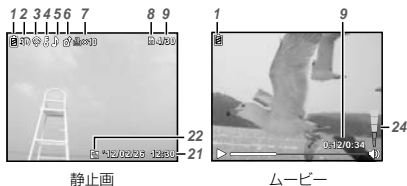
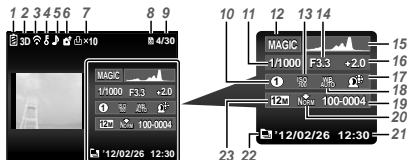
1 ストラップ取付部
2 コネクタカバー
3 マルチコネクタ
4 HDMIマイクロコネクタ
5 フラッシュ
6 セルフタイマーランプ／AFイルミネータ
7 レンズ
8 録音マイク
9 電池／カードカバー
10 三脚穴
11 スピーカー
12 電池／カードカバーロック

1 **ON/OFF**ボタン
2 動作ランプ
3 モニタ
4 ズームレバー
5 シャッターボタン
6 ◉ボタン（ムービー撮影）
7 ▶ボタン（撮影／再生モード切替）
8 十字ボタン
　INFO（表示切替）
　🗑（消去）
9 ⓚボタン（OK）
10 ❓ボタン（カメラガイド）
11 **MENU**ボタン

ストラップを取り付ける

最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

撮影モード表示

1 撮影モード...... p.20、27
2 フラッシュ.............p.23
フラッシュ発光予告・
フラッシュ充電........p.62
3 マクロ／スーパーマクロ
..............................p.33
4 セルフタイマー.......p.33
5 露出補正.................p.34
6 ホワイトバランス....p.35
7 ISO感度 p.36
8 ドライブ.................p.36
9 画像サイズ（静止画）
.... p.37、70
10 録音（ムービー）／
風切り音低減 p.43
11 画像サイズ（ムービー）
.... p.43、71
12 連続撮影可能時間
（ムービー）.............p.21
13 ムービーアイコン....p.21
14 ワールドタイム.......p.55
15 手ぶれ補正（静止画）
..............................p.41
16 測光........................p.41
17 日付写し込み p.42
18 圧縮モード（静止画）
.... p.40、70
19 撮影可能枚数（静止画）
..............................p.20
20 使用メモリ..............p.69
21 電池残量......... p.16、63
22 ヒストグラム p.23
23 AFターゲットマーク
..............................p.21
24 絞り値 p.21
25 シャッター速度.......p.21
26 手ぶれ警告

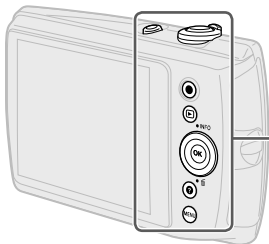
再生モード表示

● **通常表示**

静止画　　ムービー

● **詳細表示**

1 電池残量......... p.16、63
2 3D画像...................p.39
3 Eye-Fi送信完了.......p.49
4 プロテクト.............p.47
5 録音.......................p.45
6 アップロード予約....p.48
7 プリント予約／枚数 ....p.60 ／ p.59
8 使用メモリ.............p.69
9 コマ番号／撮影総枚数（静止画）................p.24
再生時間／撮影時間（ムービー）.............p.24
10 MAGICモード...........p.30
11 シャッター速度.......p.21
12 撮影モード...... p.20、27
13 ISO感度 p.36
14 絞り値 p.21
15 ヒストグラム p.23
16 露出補正................p.34
17 暗部補正................p.40
18 ホワイトバランス....p.35
19 ファイル番号
20 圧縮モード（静止画）..................... p.40、70
21 日時............... p.19、55
22 グループ画像 p.38
23 画像サイズ ....p.37、43、70、71
24 音量............... p.24、51

カメラの設定操作

ボタンで操作する

よく使う機能はボタンで操作します。

操作ガイド

画像の選択や各種設定に表示される △▽◁▷ は、十字ボタン（右図参照）を使うことを示しています。

画面に表示される操作ガイドは、**MENU** ボタンや ⓞⓚ ボタン、ズームレバーを使うことを示しています。

十字ボタン

△（上）／ **INFO**（表示切替）（p.23、26）

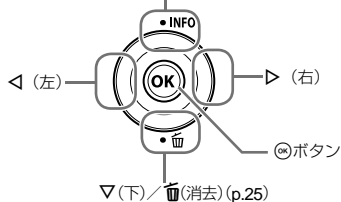
INFO

OK

◁（左）

▷（右）

ⓞⓚボタン

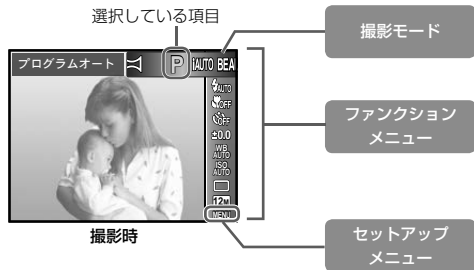
▽（下）／🗑（消去）（p.25）

メニューで操作する

撮影モードの切り替えや、カメラの様々な設定はメニューで操作します。

設定されている機能の組み合わせ、あるいは撮影モード（p.27）によっては、選択できないメニューがあります。

ファンクションメニュー

◁ を押すと、ファンクションメニューが表示されます。ファンクションメニューでは、撮影モードを切り替えたり、撮影時によく使う機能を設定します。

撮影時

撮影モードの選び方

◁▷ で撮影モードを選び、㊎ ボタンを押して確定します。

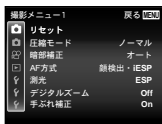
ファンクションメニューの選び方

△▽ でメニューを、◁▷ で項目を選び、㊎ ボタンを押して確定します。

セットアップメニュー

撮影時または再生時に **MENU** ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。
セットアップメニューでは、ファンクションメニューには表示されない撮影／再生時の機能や、日時や画面表示設定などカメラの様々な機能を設定します。

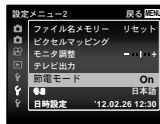
1 **MENU** ボタンを押す。

- セットアップメニューが表示されます。

2 ◁ でページタブを選択する。△▽ で目的のページタブを選び、▷ を押す。

3 △▽ で目的のサブメニュー 1 を選び、
㊊ ボタンを押す。

4 △▽ で目的のサブメニュー 2 を選び、
㊊ ボタンを押す。

- 設定が確定してサブメニュー 1に戻ります。

設定後、さらに個別の操作があることがあります。詳細は「メニュー設定」(p.40〜56)をご覧ください。

5 **MENU** ボタンを押して設定を終える。

メニューインデックス

プログラムオート
P
iAUTO BEA
MENU
撮影メニュー1
戻る MENU
リセット
圧縮モード ノーマル
暗部補正 オート
AF方式 顔検出・iESP
測光 ESP
デジタルズーム Off
手ぶれ補正 On

目次

各部の名前

カメラを準備する

撮影する・再生する・消去する

撮影モードを使いこなす

撮影機能を使いこなす

再生機能を使う

撮影に関連するメニュー

再生・編集・プリントに関連するメニュー

カメラの設定に関連するメニュー

プリントする

使い方のヒント

資料

カメラを準備する

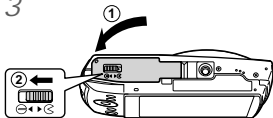
電池とカードを入れる

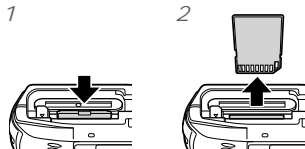
1

①
②
電池／カードカバー
電池／カードカバーロック

2

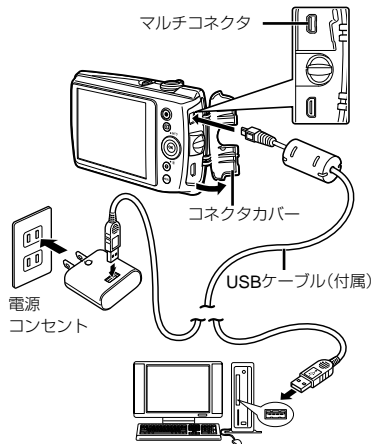
- 電池は⊖を電池ロックノブ側にして図のように入れてください。
  電池の外装にキズ等のダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。
- 電池ロックノブを矢印の向きに押しながら電池を入れます。
- カードをまっすぐに差し、カチッと音がするまで押し込んでください。
- 電池／カードカバーの開け閉めの際は、電源を切ってください。
- カメラをご使用の際は、必ず電池／カードカバーを閉じロックをしてください。
- 電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押してロックを外してから取り出します。
- SD/SDHC/SDXCカード、Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れないでください。「カードを使う」（p.69）
- カードのコンタクトエリアには直接手を触れないでください。
- このカメラはカードを入れなくても、内蔵メモリを使って撮影することができます。

3

- 「内蔵メモリとカードの撮影可能枚数（静止画）／連続撮影可能時間（ムービー）」（p.70、71）

カードを取り出すには

- カチッと音がするまでカードを押しこみ、ゆっくり戻してから、カードをつまんで取り出します。

付属のUSB-ACアダプタで充電する

- 付属のUSB-ACアダプタ(F-2AC)（以降、USB-ACアダプタ)は充電および再生用です。USB-ACアダプタをカメラに接続しているときは、撮影はできません。
- 充電が完了、または再生を終了したら、必ずUSB-ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電池とUSB-ACアダプタについては「電池／USB-ACアダプタについて」（p.68)をご覧ください。
- パソコンに接続している間も、電池を充電することができます。充電時間はパソコンなどの性能により大きく異なります。（パソコンなどの性能によっては10時間程度かかる場合もあります。）

接続方法

動作ランプ

- お買い上げのとき、電池は十分に充電されていません。お使いになる前に、動作ランプが消えるまで(最長約3時間)電池を充電してください。
- 電池の充電中に、動作ランプが点灯しない場合は、接続が正しくないか、充電池／カメラ／USB-ACアダプタが壊れている可能性があります。

電池の充電時期

次のエラーメッセージが表示されたら電池を充電してください。

赤く点滅

エラーメッセージ

PC用ソフトウェアのインストールとユーザー登録を行う

付属のCD-ROMを使った［ib］（PC用ソフトウェア）のインストールは、Windowsのみの対応となります。

Windows

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れる。

Windows XPの場合
- 「セットアップ」画面が表示されます。

Windows Vista / Windows 7 の場合
- 自動起動の画面が表示されますので、「OLYMPUS Setup」をクリックしてください。「セットアップ」画面が表示されます。

- 「セットアップ」画面が表示されない場合は、スタートメニューから「マイコンピュータ」（Windows XP）/「コンピュータ」（Windows Vista）/「コンピューター」（Windows 7）をクリックし、次にCD-ROM（OLYMPUS Setup）のアイコンをダブルクリックして「OLYMPUS Setup」ウィンドウを開きます。最後に、「Launcher.exe」をダブルクリックしてください。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

2 ユーザー登録を行う。

- 「ユーザー登録」ボタンをクリックし、画面のメッセージに従って操作を行ってください。

- ユーザー登録を行うにはカメラとパソコンを接続する必要があります。「接続方法」（p.15）
- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。電池を充電してから、接続し直してください。

3 OLYMPUS Viewer 2、［ib］（PC用ソフトウェア）のインストールを行う。

- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 2」または「OLYMPUS ib」ボタンをクリックし、画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

OLYMPUS Viewer 2	
OS	Windows XP（SP2 以上）/ Windows Vista / Windows 7
CPU	Pentium 4 1.3GHz 以上（ムービーを扱う場合：Core 2 Duo 2.13GHz 以上推奨）
RAM	1GB 以上（2GB 以上推奨）
HDDの空き容量	1GB 以上
モニタ	1024×768 ドット以上、65,536 色以上（1,677万色以上推奨）

［ib］	
OS	Windows XP（SP2 以上）/ Windows Vista / Windows 7
CPU	Pentium 4 1.3GHz 以上（ムービーを扱う場合：Core 2 Duo 2.13GHz 以上推奨）
RAM	512MB 以上（1GB 以上推奨）（ムービーを扱う場合：1GB 以上、2GB以上推奨）
HDDの空き容量	1GB 以上
モニタ	1024×768 ドット以上、65,536 色以上（1,677万色以上推奨）
グラフィックデバイス	64MB 以上のグラフィックメモリ、DirectX 9 以上に対応したグラフィックドライバ

* ソフトウェアの詳しい使い方は、各ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

Macintosh

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れる。

- デスクトップにCD-ROM（OLYMPUS Setup）アイコンが表示されますので、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 「Setup」アイコンをダブルクリックすると、「セットアップ」画面が表示されます。

2 OLYMPUS Viewer 2のインストールを行う。

- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 2」ボタンをクリックし、画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

OLYMPUS Viewer 2の「ヘルプ」の「ユーザー登録」からユーザー登録を行うこともできます。

OLYMPUS Viewer 2	
OS	Mac OS X v10.4.11–v10.7
CPU	Intel Core Solo / Duo 1.5GHz 以上
RAM	1GB 以上（2GB 以上推奨）
HDDの空き容量	1GB 以上
モニタ	1024×768 ドット以上、32,000色以上（1,677万色以上推奨）

* 言語を変更したい場合は、言語コンボボックスからご使用の言語を選択してください。
ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

表示言語・日時・地域を設定する

モニタに表示されるメニュー表示や、エラーメッセージの言語を選ぶことができます。また、設定した日時は、撮影した画像のファイル名、日付プリントなどに反映されます。

1 **ON/OFF**ボタンを押して電源を入れ、△▽◁▷で言語を選び、Ⓞボタンを押す。

- 設定した言語を変更するときは、メニューから設定します。[ ]（言語設定）（p.55）

2 △▽で[年]を選ぶ。

日時設定画面

3 ▷を押して[年]を確定する。

4 手順2、3と同様に、△▽◁▷で[月]、[日]、[時刻]（時、分）、[年/月/日]（日付の順序）を設定したら、Ⓞボタンを押します。

- 「分」を設定中に0秒の時報に合わせてⓄボタンを押すと、正確に時刻を合わせることができます。
- 設定した日時を変更するときは、メニューから設定します。[日時設定]（p.55）

5 ◁▷で[ ]の地域を選び、Ⓞボタンを押す。

- △▽で[サマータイム]の設定ができます。

- 設定した地域を変更するときは、メニューから設定します。[ワールドタイム]（p.55）

撮影する・再生する・消去する

最適な絞り値とシャッター速度で撮る（Pモード）

カメラまかせの撮影をしながら、必要に応じて露出補正やホワイトバランスなど多彩な撮影メニュー機能を変更できます。

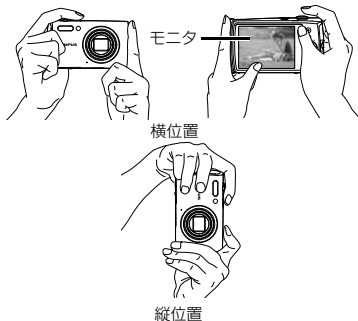
! 　　は、初期設定を表します。

1 **ON/OFF**ボタンを押して電源を入れる。

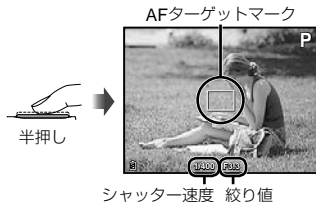
撮影可能枚数（p.70）

モニタ（撮影待機画面）

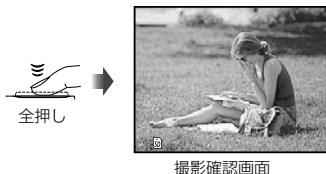
! **P**モードになっていないときは、◁を押してファンクションメニュー画面を表示し、撮影モードを**P**にしてください。「メニューで操作する」（p.8）

2 カメラを構えて構図を決める。

! カメラを構えるときは、フラッシュやマイクに指などがかからないようご注意ください。

3 シャッターボタンを半押しして、撮りたいもの(被写体)にピントを合わせる。

- 被写体にピントが合うと露出が固定され(シャッター速度、絞り値が表示され)、AFターゲットマークが緑色に点灯します。
- AFターゲットマークが赤く点滅したときは、ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

「ピント」(p.64)

4 カメラが揺れないよう、シャッターボタンを静かに全押しして撮影する。

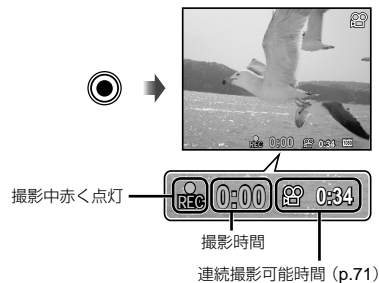
撮影確認画面

撮影中に画像を再生するには

▶ボタンを押すと、画像を再生できます。撮影に戻るには、もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてください。

カメラの電源を切るときは

ON/OFFボタンをもう一度押します。

ムービーを撮る

1 ◉ボタンを押して撮影をはじめる。

- 設定している撮影モードの効果を使って、ムービー撮影ができます。BEAUTY、SCN(一部モード)、MAGIC(一部モード)、⋈では**P**モードで撮影されます。
- 音声を同時に録音します。

2 ◉ボタンをもう一度押して撮影を終了する。

ズームを使う

ズームレバーを回して撮影する範囲を調節します。

光学ズーム：8倍
超解像ズーム：2倍
デジタルズーム：4倍

より大きく撮るには[超解像ズーム](p.43)、[デジタルズーム] (p.41)

ズームバー表示の違いでズームの状態がわかります。[超解像ズーム] (p.43)、[デジタルズーム] (p.41)と[画像サイズ](p.37)の設定によって表示が異なります。

光学ズームのみのとき

画像サイズ	ズームバー表示
12M	W　T 光学ズーム領域
その他の画像サイズ	W　T　ST 画像サイズの設定によって拡大倍率が変わります。*1

[超解像ズーム]が[On]のとき

画像サイズ	ズームバー表示
12M	W　T 超解像ズーム領域

[デジタルズーム]が[On]のとき

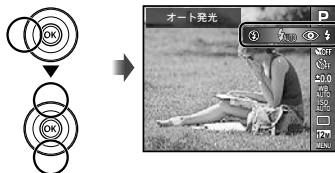
画像サイズ	ズームバー表示
12M	W　T デジタルズーム領域
その他の画像サイズ	W　T 画像サイズの設定によって拡大倍率が変わります。*1 デジタルズーム領域

*1 少ない画素数のデータを多い画素数に変換する処理を行わないため、これによる画質の劣化はありません。ただし、拡大できる倍率は設定した画像サイズにより異なります。

ズームバーが赤く表示されているときは、画像が粗くなる可能性があります。

フラッシュを使う

撮影状況や表現方法に合わせてフラッシュ機能を選びます。

1 ファンクションメニューからフラッシュを選ぶ。

2 ◁▷で設定項目を選び、㊊ボタンを押して確定する。

項目	説明
オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
赤目軽減	予備発光を行い、目が赤く写るのを軽減します。
強制発光	フラッシュが必ず発光します。
発光禁止	フラッシュは発光しません。

撮影情報表示を切り替える

画面上の情報表示を消したり、構図を確認するために罫線を表示するなど、状況に応じて画面表示を切り替えることができます。

1 △（**INFO**）を押す。

- 押すたびに撮影情報表示が切り替わります。「撮影モード表示」（p.4）

通常

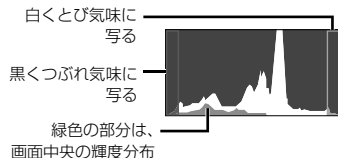
表示オフ

詳細

ヒストグラム表示の意味

白くとび気味に写る

黒くつぶれ気味に写る

緑色の部分は、画面中央の輝度分布

撮った画像を再生する

1 ▶ボタンを押す。

再生画像

BEAUTYモードで撮影した画像は、グループ化して表示されます。グループ内の画像を再生するにはズームレバーをT側に回します。

2 ◁▷で画像を選ぶ。

▷を長押しすると早送り、◁を長押しすると早戻りします。

画像の表示サイズを変えることができます。
「インデックスビュー・拡大表示」（p.25）

音声を再生するには

画像に録音した音声を再生するには、画像を選び、Ⓞボタンを押します。

音声再生中

△▽で音量を調節できます。

ムービーを再生するには

ムービーを選び、Ⓞボタンを押します。

ムービー

一時停止する／再生を再開する	Ⓞボタンを押すと、一時停止します。一時停止、早送り、巻き戻し中にⓄボタンを押すと、再生を再開します。
早送りする	▷を押すと、早送りをします。さらに▷を押すと、早送りの速度が早くなります。
巻き戻しする	◁を押すと、巻き戻しします。◁を押すたびに巻き戻しの速度が早くなります。
音量を調節する	△▽で音量を調節します。

一時停止中の操作

一時停止中

頭出しする	△で先頭のコマを、▽で最後尾のコマを表示します。
コマ送りする／コマ戻しする	▷または◁を押すと、コマ送り／コマ戻しします。▷や◁を押している間は、再生／逆再生します。
再生を再開する	Ⓞボタンを押すと、再生を再開します。

ムービー再生を中止するには

MENUボタンを押します。

パソコンでムービーを再生する場合、同梱のPC用ソフトウェアのご使用をおすすめします。同梱のPC用ソフトウェアを最初にご使用になる際、カメラをPCに接続しソフトウェアを起動してください。

再生中の画像を消去する（1コマ消去）

1 消去する画像の再生中に▽（🗑）を押す。

2 △▽で[消去]を選び、Ⓢボタンを押す。

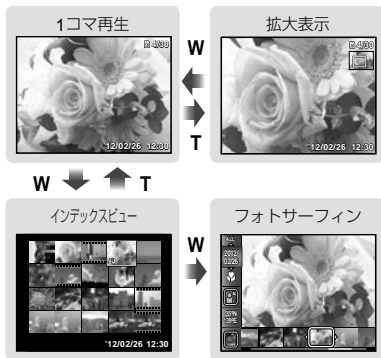
画像を選択して消去したり、一度に全コマ消去することもできます(p.47)。

インデックスビュー・拡大表示

インデックスビューでは、すばやく目的の画像を選ぶことができます。拡大表示(最大で10倍)では画像を細部まで確認することができます。

1 ズームレバーを回す。

W T

W

インデックスビューで画像を選ぶには

△▽◁▷で画像を選び、Ⓢボタンを押すと、選んだ画像の1コマ再生に戻ります。

拡大表示で画面をスクロールするには

△▽◁▷で再生位置を移動できます。

フォトサーフィンを中止するには

△▽で[ALL]を選び、Ⓢボタンを押します。

画像情報表示を切り替える

撮影時の設定内容を切り替えて表示することができます。

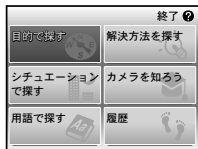
1 △（**INFO**）を押す。

- 押すたびに画像情報表示が切り替わります。

「ヒストグラム表示の意味」（p.23）

カメラガイドを使う

カメラの操作について調べたいことがあるときは、カメラガイドを使って調べることができます。

1 撮影待機画面または再生画面で?ボタンを押す。

サブメニュー2	説明
目的で探す	やりたい事から探すことができます。
解決方法を探す	操作中に困ったときに、解決方法を探すことができます。
シチュエーションで探す	場面に応じて探すことができます。
カメラを知ろう	おすすめの機能やカメラの基本的な使い方がわかります。
用語で探す	カメラの用語で探すことができます。
履歴	過去に調べた内容から探すことができます。

2 目的に合った項目を△▽◁▷で選び、OKボタンを押す。

- 画面に表示される案内に従って、目的の内容を探してください。

撮影モードを使いこなす

撮影モードを変更するには

撮影モード(**P**、iAUTO、BEAUTY、SCN、MAGIC、⌘)はファンクションメニューで切り替えることができます。
「メニューで操作する」(p.8)

カメラまかせで撮影する(iAUTOモード)

撮影シーンに合わせてカメラが自動的に最適な設定をします。カメラまかせで撮影するために一部の機能を除いて設定の変更はできません。

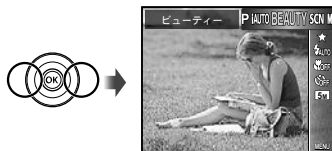
1 撮影モードをiAUTOにする。

カメラが判別したシーンのアイコンに切り替わります。

- 撮影シーンによっては、意図した撮影モードにならない場合があります。
- カメラが最適なモードを判定できない場合は、**P**モードでの撮影になります。

ビューティーメイク補整をかけて撮影する(BEAUTYモード)

- 画像によっては、補整効果が得られない場合があります。

1 撮影モードをBEAUTYにする。

2 ▽を押してサブメニューに移動する。

3 ◁▷で補整設定を選び、㊇ボタンを押して確定する。

補整設定

- ［Set1］［Set2］［Set3］はビューティー登録の設定に応じて補整します。「ビューティー登録」（p.56）

4 カメラを被写体に向け、カメラが検出した顔に現れる枠を確認してから、シャッターボタンを押して撮影する。

- 補整前と補整後の画像がそれぞれ保存されます。
- 補整できなかったときは、補整前の画像のみ保存されます。
- 補整画像の［画像サイズ］（p.37）は［5M］以下に制限されます。

5 確認画面で［決定］または［ビューティーメイク］を選び、㊇ボタンを押し、保存またはさらに補整をする。

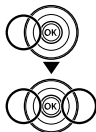
- ビューティーメイク

① △▽◁▷で補正内容を設定し、㊇ボタンを押す。

② 確認画面で効果を確認し、㊇ボタンを押すと、補正処理を行い画像を保存する。

- ビューティーメイクの設定を登録することができます。

撮影シーンに合ったモードを使う（SCNモード）

1 撮影モードを**SCN**にする。

2 ∇を押してサブメニューに移動する。

3 ◁▷でモードを選び、㊋ボタンを押して確定する。

設定したシーンモードのアイコン

SCNモードには、撮影シーン別に最適な撮影設定がプログラムされています。モードによっては機能に制限がかかります。

項目	用途
ポートレート/風景/夜景[*1]/夜景&人物[*1]/スポーツ/屋内撮影/キャンドル[*1]/自分撮り/夕日[*1]/打ち上げ花火[*1]/料理/文書/ビーチ&スノー/ペット(猫)/ペット(犬)/3D 3D/HDR逆光補正[*2]	撮影シーンに合ったモードで撮影する。

[*1] 被写体が暗いとき、および打ち上げ花火ではノイズリダクション機能が自動的に働きます。そのときは撮影時間が通常の2倍になり、その間次の撮影はできません。

[*2] [HDR逆光補正]のときは、[画像サイズ](p.37)は[5M]以下に制限されます。動きのない被写体でのご使用をおすすめします。

3D撮影をするには

3D対応の表示機器で閲覧可能な3D画像を撮影します。

- 3Dモードで撮影した画像は、本製品のモニタで立体的に見ることはできません。

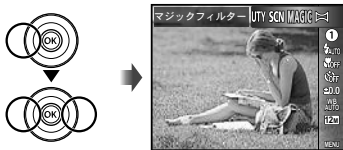
① ◁▷で[オート]か[マニュアル]を選び、㊋ボタンを押して確定する。

サブメニュー1	説明
オート	ターゲットマークとポインタを重ねるように構図を決めるだけで自動的にシャッターが切れます。
マニュアル	1コマ目を撮影したあと、モニタに表示される画像に合わせカメラを動かし、手動でシャッターを切ります。

- 被写体によっては、立体的に見えないことがあります。
- 3D撮影の画角は被写体などによって変わります。
- 3D撮影を途中で中止するには、**MENU**ボタンを押します。
- [画像サイズ](p.37)は、[16:9S]に固定されます。
- ズームは固定されます。
- ピント、露出、ホワイトバランスは、1枚目の撮影で固定されます。
- フラッシュは㊌(発光禁止)に固定されます。

特殊な効果をかけて撮影する（MAGICモード）

お好みの特殊効果を使って、表現豊かな撮影ができます。

1 撮影モードをMAGICにする。

2 ∇を押してサブメニューに移動する。

3 ◁▷でお好みに合ったモードを選び、Ⓐボタンを押して確定する。

設定したMAGICモードのアイコン

撮影モード	項目
マジックフィルター	❶ ポップ ❷ピンホール*1 ❸フィッシュアイ ❹スケッチ*1、2 ❺ウェディング*1 ❻ロック ❼クリスタル*1 ❽水彩*1 ❾ミラー ❿ミニチュア ⓫ランダムタイル ⓬ドラマチック

*1 [画像サイズ]（p.37）は[5M]以下に制限されます。

*2 効果を適用した画像と適用していない画像の2枚が保存されます。

MAGICモードには、それぞれの効果に最適な撮影設定がプログラムされています。そのため、モードによっては後から設定を変更できない機能があります。

ムービー撮影では、設定している撮影モードの効果がムービーに反映されます。撮影モードによっては効果が反映されないものもあります。

パノラマ撮影をする(⊠モード)

1 撮影モードを⊠にする。

2 ▽を押してサブメニューに移動する。

3 ◁▷でお好みに合ったモードを選び、㊊ボタンを押して確定する。

サブメニュー1	用途
オート	写真を3コマ撮り、カメラで合成する(ターゲットマークとポインタを重ねるように構図を決めるだけで自動的にシャッターが切れます)。
マニュアル	写真を3コマ撮り、カメラで合成する(ガイド枠を目安に構図を決め、手動でシャッターを切ります)。
PC	撮影した画像をPC用ソフトウェアでパノラマ写真に合成する。

- PC用ソフトウェアのインストールについては、「PC用ソフトウェアのインストールとユーザー登録を行う」(p.16)をご覧ください。
- [オート]または[マニュアル]のとき、[画像サイズ](p.37)は2M相当に固定されます。
- ピント、露出、ズーム位置(p.22)、ホワイトバランス(p.35)は、1枚目の撮影で固定されます。
- フラッシュは㊎(発光禁止)(p.23)に固定されます。

[オート]で撮影するには

① シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。

② 2コマ目を撮る方向にカメラを少し向ける。

左から右へ画像をつなぐ場合

③ カメラをゆっくりとまっすぐに動かし、ポインタがターゲットマークに重なる位置でカメラを止める。

- 自動的にシャッターが切れます。

- 2コマだけ合成するときは、3コマ目の画像を撮影する前に㊊ボタンを押します。

④ 手順③と同様に3コマ目を撮影する。

- 3コマ目の撮影が終わると自動的に合成処理が行われ、合成された画像が表示されます。

- 撮影の途中で合成を中止するには、**MENU**ボタンを押します。
- 自動でシャッターが切れないときは、[マニュアル]または[PC]を選びます。

[マニュアル]で撮影するには

① △▽◁▷で画像をつなぐ方向を選ぶ。

② シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。画面上の1に1コマ目の白い枠内の画像が表示されます。

1コマ目

③ つなぎ目1と2の部分が重なるように2コマ目の構図を決める。

④ シャッターボタンを押して2コマ目を撮影する。

- ㊎ボタンを押すと2コマで合成されます。

⑤ 手順③~④と同様に3コマ目を撮影する。

- 3コマ目の撮影が終わると自動的に合成処理が行われ、合成された画像が表示されます。

- 撮影の途中で合成を中止するときは、**MENU**ボタンを押します。

[PC]で撮影するには

① △▽◁▷で画像をつなぐ方向を選ぶ。

② シャッターボタンを押して1コマ目を撮影し、2コマ目の構図で構えます。撮影の方法は[マニュアル]と同じです。

- 最大10コマまでのパノラマ撮影が可能です。

③ 手順②を繰り返して必要なコマ数を撮影し、最後に㊎ボタンまたは**MENU**ボタンを押す。

- パノラマ写真の合成手順はPC用ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「メニューで操作する」（p.8）

近づいて大きく撮る（マクロ撮影）

被写体に接近しても、ピントが合い大きく写すことができます。

1 ファンクションメニューからマクロを選ぶ。

2 ◁▷で設定項目を選び、㊙ボタンを押して確定する。

項目	説明
マクロ オフ	マクロモードを解除します。
マクロ	被写体に接近して撮影できます。10cm*1（90cm）*2
スーパーマクロ*3	被写体に2cmまで接近して撮影できます。60cm以上離れると、ピントは合いません。

*1 ズームが最も広角（W）側にあるとき。
*2 ズームが最も望遠（T）側にあるとき。
*3 ズームは自動的に固定されます。

[スーパーマクロ]のときは、フラッシュ（p.23）とズーム（p.22）は設定できません。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを全押しした後、時間を空けて撮影します。

1 ファンクションメニューからセルフタイマーを選ぶ。

2 ◁▷で設定項目を選び、Ⓞボタンを押して確定する。

項目	説明
セルフタイマーオフ	セルフタイマーを解除します。
セルフタイマー12s	セルフタイマーランプが約10秒点灯し、さらに約2秒点滅した後、シャッターが切れます。
セルフタイマー2s	セルフタイマーランプが約2秒点滅した後、シャッターが切れます。
オートシャッター[*1]	正面を向いたペット(犬、猫)の顔を検出し、自動的にシャッターが切れます。

*1 [オートシャッター]は**SCN**モードが[猫]または[犬]のときのみ表示されます。

動作中のセルフタイマーを中止するには

MENUボタンを押します。

明るさを調節する(露出補正)

撮影モード(iAUTOを除く)で、カメラが調節した標準的な明るさ(適正露出)を、撮影意図に応じて明るくしたり暗くしたりできます。

1 ファンクションメニューから露出補正を選ぶ。

2 ◁▷で好みの明るさの画像を選び、Ⓞボタンを押す。

自然な色合いに調整する（ホワイトバランス）

撮影シーンに応じたホワイトバランスを設定し、より自然な色合いで撮影できます。

1 ファンクションメニューからホワイトバランスを選ぶ。

2 ◁▷で設定項目を選び、㊙ボタンを押して確定する。

項目	説明
WBオート	撮影シーンに応じてカメラが自動的に調整する。
晴天	晴れた屋外で撮影する。
曇天	曇った屋外で撮影する。
電球	電球の灯りで撮影する。
蛍光灯	蛍光灯下で撮影する。
ワンタッチ1	オートおよび晴天、曇天、電球、蛍光灯では調整しきれない微妙な色合いを設定する。
ワンタッチ2	

ワンタッチホワイトバランスを使う

① ファンクションメニューからホワイトバランスを選ぶ。

② ◁▷でワンタッチ1またはワンタッチ2を選び、カメラを白い紙などに向ける。

- 紙は画面いっぱいになるように置き、影の部分ができないようにしてください。
- この操作は、実際に撮影する光源下で行ってください。

③ **MENU**ボタンを押す。

- シャッターが切れて、ホワイトバランスが登録されます。
- 登録されたホワイトバランスは、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。
- 手順②でホワイトバランスが登録済みの番号を選択した場合、新しいホワイトバランスが登録されます。

! 白い部分の面積が足りないとき、明るすぎるとき、暗すぎるとき、極端な色味がついているときは、ホワイトバランスは登録できません。再度、手順②からやり直してください。または他のホワイトバランスに設定してください。

撮影感度を選ぶ(ISO感度)

1 ファンクションメニューからISO感度を選ぶ。

2 ◁▷で設定項目を選び、ⓚボタンを押して確定する。

項目	説明
ISOオート	撮影シーンに応じてカメラが自動的に調整する。
高感度オート	手ぶれ、被写体ぶれを軽減するために、自動的に[ISOオート]よりも高い感度にカメラが調整する。
数値	ISO感度を、選択した数値に固定する。

ISO感度は、数値が小さいほど感度は低くなりますが、十分に明るいシーンではシャープな画像を撮ることができます。また数値が大きいほど感度は高くなり、暗いシーンでも速いシャッター速度で撮影ができます。ただし感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増え、画像が粗くなります。

連続撮影する(ドライブ)

シャッターボタンを押している間、連続撮影します。

1 ファンクションメニューからドライブを選ぶ。

2 ◁▷で設定項目を選び、ⓚボタンを押して確定する。

項目	説明
単写	シャッターボタンを押すごとに1コマ撮影する。
連写[*1]	約5コマ／秒の速度で連写する。
高速連写1	約15コマ／秒の速度で連写する。
高速連写2	約60コマ／秒の速度で連写する。

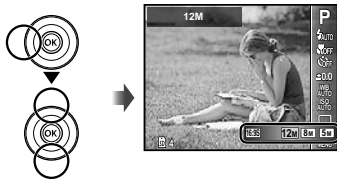
[*1] [画像サイズ](p.37)または[圧縮モード](p.40)の設定により連写速度は異なります。

[高速連写1][高速連写2]のとき[画像サイズ]は[3M]以下に制限され、ISO感度は[ISOオート]に固定されます。

[連写]では、フラッシュ(p.23)の[赤目軽減]は設定できません。また、[単写][連写]以外では[発光禁止]に固定されます。

- [高速連写1］［高速連写2]のとき、デジタルズーム(p.41)は使用できません。
- [単写]以外では最初の1コマでピントや明るさ(露出)、ホワイトバランスが固定されます。

静止画の画像サイズを選ぶ(画像サイズ)

1 ファンクションメニューから画像サイズを選ぶ。

2 ◁▷で設定項目を選び、㊊ボタンを押して確定する。

項目	説明
12M （3968×2976）	A3サイズの印刷に適しています。
8M （3264×2448）	A3サイズ以下の印刷に適しています。
5M （2560×1920）	A4サイズの印刷に適しています。
3M （2048×1536）	A4サイズ以下の印刷に適しています。
2M （1600×1200）	A5サイズの印刷に適しています。
1M （1280×960）	はがきサイズの印刷に適しています。
VGA （640×480）	テレビで見たり、メールやホームページで使用するのに適しています。
16:9L （3968×2232）	風景など被写体のワイド感を表現したい時や、ワイドテレビで再生する場合に適しています。A3サイズ相当の印刷に適しています。
16:9S （1920×1080）	風景など被写体のワイド感を表現したい時や、ワイドテレビで再生する場合に適しています。A5サイズ相当の印刷に適しています。

再生機能を使う

グループ画像を再生する

BEAUTYおよび連写で撮影した画像は、画像の再生時に、撮影した複数のコマをグループ化して表示します。展開して再生する、一括で消去する、展開して特定の画像だけを消去する、などの操作ができます。

望遠(T)側 	展開する。 • 表示したいコマを選んで㊙ボタンを押すと個別に画像を表示します。 ◁▷で前後のコマを見ることができます。
㊙**ボタン**[*1]	再生する、再生中に一時停止する。

[*1] 連写画像のみ

グループコマを消去すると、グループ画像が一括で消去されます。グループ画像の中に残したい画像がある場合は、展開して個々にプロテクトしてください。

パノラマ画像を再生する

[オート]、[マニュアル]で合成したパノラマ画像をスクロール再生することができます。

「パノラマ撮影をする(⋈モード)」(p.31)

1 再生中にパノラマ画像を選ぶ。

「撮った画像を再生する」(p.24)

2 ㊙ボタンを押す。

再生中の範囲

パノラマ画像再生中の操作

拡大／縮小：Ⓞボタンを押すと、一時停止します。さらにズームレバーを回すと、拡大または縮小します。

再生方向：Ⓞボタンを押して一時停止後、△▽◁▷を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。

一時停止：Ⓞボタンを押す。

スクロールを再開：Ⓞボタンを押す。

再生を中止：MENUボタンを押す。

3D画像を再生する

3Dで撮影した画像は、HDMIケーブルでカメラと接続した3D対応機器で再生することが出来ます。

- 「3D撮影をするには」（p.29）
- 3D再生の際は、3D対応機器の取扱説明書に記載された注意事項などもよくお読みください。

1 HDMIケーブルでカメラと3D対応機器を接続する。

- 接続や設定方法は「HDMIケーブルで接続する場合」（p.53）をご覧ください。

2 △▽で［3D鑑賞］を選びⓄボタンを押す。

3 △▽◁▷で再生する3D画像を選びⓄボタンを押す。

- スライドショーをするには、**MENU**を押します。スライドショーを中止するには、**MENU**又はⓄボタンを押します。
- 3D画像はJPEGファイルとMPOファイルから構成されます。パソコンでどちらかのファイルを削除すると、3D再生ができなくなることがあります。

撮影に関連するメニュー

- 　　は、初期設定を表します。
- メニューの操作方法は「メニューで操作する」（p.8）をご覧ください。

撮影機能を初期設定に戻す[リセット]

（撮影メニュー 1）▶ リセット

サブメニュー 2	用途
実行	以下のメニュー機能を初期設定に戻す。 • 撮影モード（p.27） • フラッシュ（p.23） • マクロ（p.33） • セルフタイマー（p.33） • 露出補正（p.34） • ホワイトバランス（p.35） • ISO感度（p.36） • ドライブ（p.36） • 画像サイズ（静止画）（p.37） • [、]内の機能（p.40 ～ 43）
中止	設定を残す。

静止画の画質を選ぶ[圧縮モード]

（撮影メニュー 1）▶ 圧縮モード

サブメニュー 2	用途
ファイン	高品質な画質で撮影できます。
ノーマル	標準的な画質で撮影できます。

- 「内蔵メモリとカードの撮影可能枚数（静止画）／連続撮影可能時間（ムービー）」（p.70、71）

逆光でも被写体を明るく撮る[暗部補正]

（撮影メニュー 1）▶ 暗部補正

サブメニュー 2	用途
オート	撮影シーンに応じて自動的にOnになる。
Off	暗部補正をしない。
On	暗くなった部分を、明るくなるように自動補正して撮影する。

- [オート]または[On]のとき、[測光]（p.41）は[ESP]に固定されます。

ピントを合わせる範囲を選ぶ[AF方式]

（撮影メニュー 1）▶ AF方式

サブメニュー 2	用途
顔検出・iESP	ピント合わせをカメラまかせにして撮影する。（カメラが人物の顔を検出した場合、検出した顔に白い枠*1を表示します。シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、枠は緑色*2になります。また、被写体に人物の顔がない場合は、カメラがピントを合わせる被写体を画面内から探して、自動的にピントを合わせます。）
スポット	AFターゲット内の被写体にピントを合わせる。
自動追尾	動いている被写体に自動でピントを合わせ続ける。

*1 被写体によっては、枠が現れなかったり、現れるまでに時間がかかることがあります。
*2 枠が赤く点滅したときは､ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

動いている被写体に自動でピントを合わせ続けるには(自動追尾)

1. AFターゲットマークを被写体に合わせて、Ⓞボタンを押します。
2. 被写体を認識すると、被写体の動きに合わせてAFターゲットマークが動き、自動でピントを合わせ続けます。
3. 中止するときは、Ⓞボタンを押します。

被写体や撮影状況によっては、ピントを固定できなかったり、被写体を追尾できなくなることがあります。

被写体を追尾できなくなったときは、AFターゲットマークが赤く点灯します。

明るさを測る範囲を選ぶ[測光]

（撮影メニュー 1）▶ 測光

サブメニュー 2	用途
ESP	画面全体で明るさのバランスのとれた撮影をする(画面の中央と周辺を個別に測光します)。
スポット	逆光のとき中央の被写体を撮影する(画面の中央部分を測光します)。

[ESP]のとき、強い逆光下での撮影では、中央が暗く写ることがあります。

光学ズームより大きく撮る[デジタルズーム]

（撮影メニュー 1）▶ デジタルズーム

サブメニュー 2	用途
Off	デジタルズーム機能なしで撮影する。
On	デジタルズーム機能を使って撮影する。

[スーパーマクロ]（p.33)または[高速連写1][高速連写2]（p.36)のときは設定できません。

[デジタルズーム]の設定によって、ズームバーの表示が変わります。
「より大きく撮るには」（p.22）

撮影時の手ぶれを補正する[手ぶれ補正]（静止画）／[手ぶれ補正]（ムービー）

（撮影メニュー 1）▶ 手ぶれ補正(静止画）／(ムービーメニュー）▶ 手ぶれ補正(ムービー)

サブメニュー 2	用途
Off	手ぶれ補正機能なしで撮影する(三脚使用時などカメラを固定して撮影するときに設定します)。
On	手ぶれ補正機能を使って撮影する。

初期設定
[手ぶれ補正］[On]、[手ぶれ補正］[Off]

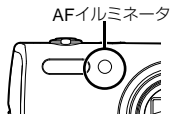
[手ぶれ補正]（静止画)が[On]のときにシャッターボタンを押すと、手ぶれを補正するためにカメラ内部から音がすることがあります。

❗ 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。

❗ 夜間撮影など、シャッター速度が極端に遅くなるときは、[手ぶれ補正](静止画)が効きにくくなることがあります。

補助光を使って暗いところの被写体にピントを合わせやすくする[AFイルミネータ]

📷（撮影メニュー 2）▶ AFイルミネータ

サブメニュー 2	用途
Off	AFイルミネータを使わない。
On	シャッターボタンを半押しして点灯するAFイルミネータを使ってピントを合わせる。

撮影直後に画像を確認する[撮影確認]

📷（撮影メニュー 2）▶ 撮影確認

サブメニュー 2	用途
Off	撮影後、モニタで被写体を追いながら次の撮影に備える(撮影した画像を記録中に表示しない)。
On	撮影後、撮影した画像の簡単なチェックをする(撮影した画像を記録中に表示する)。

アイコンの説明を表示する[アイコンガイド]

📷（撮影メニュー 2）▶ アイコンガイド

サブメニュー 2	用途
Off	表示しない。
On	撮影モードやファンクションメニューで選択されたアイコンの説明を表示する(カーソルを合わせ、しばらくすると説明が表示されます)。

静止画撮影時に日付を写し込む[日付写し込み]

📷（撮影メニュー 2）▶ 日付写し込み

サブメニュー 2	用途
Off	静止画に日付を写し込まない。
On	静止画に日付を写し込んで撮影する。

❗ 日時設定がされていない場合、[日付写し込み]は設定できません。「表示言語・日時・地域を設定する」(p.19)

❗ 画像に写し込んだ日付を削除することはできません。

❗ [⌧][3D][MAGIC][BEAUTY]のとき、[日付写し込み]は設定できません。

ドライブ(p.36)が[単写]以外に設定されている場合には、[日付写し込み]は設定できません。

画質劣化をおさえて光学ズームより大きく撮る[超解像ズーム]

（撮影メニュー 2）▶ 超解像ズーム

サブメニュー 2	用途
Off	超解像ズーム機能なしで撮影する。
On	超解像ズーム機能を使って撮影する。

[画像サイズ]（p.37)が[12M]のときのみ有効です。

[スーパーマクロ]（p.33)または[高速連写1][高速連写2]（p.36)のときは設定できません。

ムービーの画質を選ぶ[画像サイズ]

（ムービーメニュー）▶ 画像サイズ

サブメニュー 2	用途
1080p 720p VGA（640×480）	画像のサイズと粗さに応じて画質を選びます。

「内蔵メモリとカードの撮影可能枚数(静止画)／連続撮影可能時間(ムービー)」（p.70、71）

ムービー撮影時に音声を録音する[ムービー録音]

（ムービーメニュー）▶ ムービー録音

サブメニュー 2	用途
Off	録音しない。
On	ムービー撮影時に録音する。

記録される音声の風切り音を低減する[風切り音低減]

（ムービーメニュー）▶ 風切り音低減

サブメニュー 2	用途
Off	風切り音低減機能なしで撮影する。
On	風切り音低減機能を使って撮影する。

再生・編集・プリントに関連するメニュー

- 　　　は、初期設定を表します。
- 一部機能を使用するためには、[ib]（PC用ソフトウェア）を使って作成したデータが必要になります。
- [ib]（PC用ソフトウェア）の使い方の詳細は、[ib]（PC用ソフトウェア）のヘルプを参照してください。
- [ib]（PC用ソフトウェア）のインストールについては、「PC用ソフトウェアのインストールとユーザー登録を行う」（p.16）をご覧ください。

静止画を自動再生する[スライドショー]

▶（再生メニュー）▶ スライドショー

サブメニュー2	サブメニュー3	用途
スライド	すべて／イベント／コレクション[*1]	スライドショーを実行する範囲を選ぶ。
BGM	Off/Cosmic/Breeze/Mellow/Dreamy/Urban	スライドショー中に流す音楽（BGM）を選ぶ。
スタイル選択	標準／フェード／ズーム	画像の転換効果（スタイル）を選ぶ。
スタート	—	スライドショーをはじめる。

[*1] [ib]（PC用ソフトウェア）を使って作成し、カメラに書き戻した[コレクション]を再生することができます。

- スライドショー中に▷を押すと1コマ送り、◁を押すと1コマ戻ります。

画像を検索したり、関連画像を再生したりする[フォトサーフィン]

▶（再生メニュー）▶ フォトサーフィン

[フォトサーフィン]では、関連項目を選択すると、画像の検索や関連画像の再生ができます。

[フォトサーフィン]を始めるには

Ⓞボタンを押すと、[フォトサーフィン]が始まります。
再生中の画像の関連項目を△▽で選択すると、画面下部に、選んだ項目に応じた画像一覧が表示されます。◁▷で画像を選び再生します。
関連項目を選んでいるときにⓄボタンを押すと、非表示の項目を変更できます。
[フォトサーフィン]を中止するには、△▽で[ALL]を選んでⓄボタンを押します。

[ib]（PC用ソフトウェア）とカメラへの書き戻し

- [ib]（PC用ソフトウェア）の使い方の詳細は、[ib]（PC用ソフトウェア）のヘルプを参照してください。
- [ib]（PC用ソフトウェア）以外のアプリケーションで画像ファイルを操作すると、[ib]（PC用ソフトウェア）機能がうまく動作しないことがあります。
- [ib]（PC用ソフトウェア）を使ってカメラへの書き戻しをすると次のことができます。
  人物情報、位置情報、コレクションの関連項目への追加

画像のサイズを変える[リサイズ]

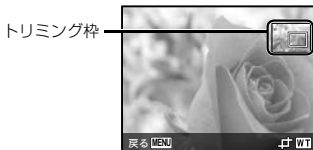
▶（再生メニュー）▶ 編集 ▶ リサイズ

サブメニュー 3	用途
VGA 640×480	大きいサイズで撮った画像を、メール添付用などのために小さい別画像として保存する。
QVGA 320×240	

① ◁▷で画像を選ぶ。
② △▽で画像サイズを選び、Ⓐボタンを押す。
- リサイズされた画像が、別画像として保存されます。

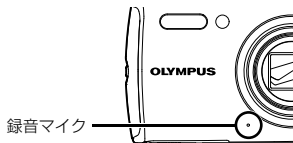
画像の一部を切り出す[トリミング]

▶（再生メニュー）▶ 編集 ▶ トリミング

① ◁▷で画像を選び、Ⓐボタンを押す。
② ズームレバーでトリミング枠の大きさを選び、△▽◁▷で枠を移動する。

③ 切り出す範囲が決まったら、Ⓐボタンを押す。
- 編集した画像が、別画像として保存されます。

静止画に音声を追加する[録音]

▶（再生メニュー）▶ 編集 ▶ 録音

① ◁▷で画像を選ぶ。
② 録音マイクを音源に向ける。

③ Ⓐボタンを押す。
- 録音がはじまります。
- 静止画の再生中に約4秒間、音声を追加（録音）します。

静止画の顔を補整する[ビューティーメイク]

▶（再生メニュー）▶ 編集 ▶ ビューティーメイク

画像によっては、補整効果が得られない場合があります。

① ◁▷で画像を選び、Ⓐボタンを押す。
② △▽で補整設定を選び、Ⓐボタンを押す。
③ 確認画面で[決定]または[ビューティーメイク]を選び、Ⓐボタンを押し、保存またはさらに補整をする。

- 補整した画像が、別画像として保存されます。

[画像サイズ]（p.37）は[5M]以下に制限されます。

- ビューティーメイク

① 補整項目を選び、Ⓐボタンを押す。

② 確認画面でⒶボタンを押す。

逆光などで暗くなった部分を明るくする[逆光自動調整]

▶（再生メニュー）▶ 編集 ▶ 逆光自動調整

① ◁▷で画像を選び、Ⓐボタンを押す。

- 編集した画像が、別画像として保存されます。

画像によっては、補正効果が得られない場合があります。

補正により画像が粗くなることがあります。

フラッシュ撮影で赤くなった目の色を補正する[赤目補正]

▶（再生メニュー）▶ 編集 ▶ 赤目補正

① ◁▷で画像を選び、Ⓐボタンを押す。

- 編集した画像が、別画像として保存されます。

画像によっては、補正効果が得られない場合があります。

補正により画像が粗くなることがあります。

画像を回転させる[回転表示]

▶（再生メニュー）▶ 編集 ▶ 回転表示

① ◁▷で画像を選ぶ。
② Ⓐボタンを押して画像を回転させる。
③ 必要に応じて手順①、②を繰り返して他の画像にも続けて設定を行い、最後に**MENU**ボタンを押す。

[回転表示]の設定は電源を切った後も保持されます。

画像を消去する[消去]

▶(再生メニュー)▶ 消去

サブメニュー2	用途
全コマ消去	内蔵メモリ／カードの画像をすべて消去する。
選択消去	画像を1コマずつ選びながら消去する。
1コマ消去	再生中の画像を消去する。

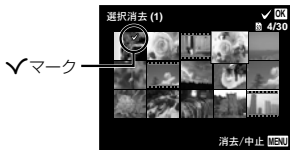
内蔵メモリの画像を消去するときは、カードをカメラに入れないでください。

プロテクトされた画像は消去できません。

[選択消去]するには

① △▽で[選択消去]を選び、ⓞボタンを押す。

② ◁▷で画像を選び、ⓞボタンを押して✓マークをつける。

- ズームレバーをW側に回すと、画面がインデックスビューに切り替わり、△▽◁▷ですばやく画像を選択することができます。1コマ表示に戻るにはT側に回します。

③ 手順②を繰り返して消去する画像を選び、最後に**MENU**ボタンを押す。

④ △▽で[消去]を選択し、ⓞボタンを押す。

- ✓マークをつけた画像が消去されます。

[全コマ消去]するには

① △▽で[全コマ消去]を選び、ⓞボタンを押す。

② △▽で[消去]を選択し、ⓞボタンを押す。

画像データに印刷設定を記録する[プリント予約]

▶(再生メニュー)▶ プリント予約

「プリント予約(DPOF)」(p.60)

プリント予約はカードに記録された静止画だけに設定できます。

画像を消去できないようにする[プロテクト]

▶(再生メニュー)▶ プロテクト

プロテクトされた画像は[1コマ消去](p.25、47)、[選択消去][全コマ消去](p.47)では消去できませんが、[内蔵メモリ初期化]／[カード初期化](p.49)を行うと消去されます。

① ◁▷で画像を選ぶ。

② ⓞボタンを押す。

- 再度ⓞボタンを押すと、設定が解除されます。

③ 必要に応じて手順①、②を繰り返してプロテクトする設定を続け、最後に**MENU**ボタンを押す。

OLYMPUS Viewer 2でインターネットにアップロードする画像を設定する[アップロード予約]

▶(再生メニュー)▶ アップロード予約

① ◁▷で画像を選ぶ。
② ⒪ボタンを押す。
- 再度⒪ボタンを押すと、設定が解除されます。

③ 必要に応じて手順①、②を繰り返して他の画像にも続けて設定を行い、最後に**MENU**ボタンを押す。

❗ JPEGファイルの画像のみ予約設定できます。

❗ アップロードの方法については、OLYMPUS Viewer 2のヘルプをご参照ください。

カメラの設定に関連するメニュー

（注意アイコン）　　は、初期設定を表します。

データを完全に消去する [内蔵メモリ初期化]／[カード初期化]

（設定メニュー 1）▶ 内蔵メモリ初期化／カード初期化

- 初期化の前には、大切なデータが記録されていないことを確認してください。
- 新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途に使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。
- 内蔵メモリを初期化するときは、カードを取り出しておいてください。

サブメニュー 2	用途
する	内蔵メモリまたはカードの画像データ(プロテクトをかけた画像を含む)を完全に消去する。
しない	初期化をキャンセルする。

内蔵メモリからカードへ画像をコピーする [データコピー]

（設定メニュー 1）▶ データコピー

サブメニュー 2	用途
する	内蔵メモリの画像データをカードにコピーする。
しない	コピーをキャンセルする。

Eye-Fiカードを使う [Eye-Fi送信]

（設定メニュー 1）▶ Eye-Fi送信

サブメニュー 2	用途
すべて	すべての画像を送信する。
選択コマ	選択した画像のみを送信する。
送信しない	画像を送信しない。

- Eye-Fiカードをご使用の際は、Eye-Fiカードの取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書に準拠してご使用ください。
- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。
- 飛行機の中など使用を禁止される場所では、Eye-Fiカードをカメラから取り出すか、[Eye-Fi設定]を[Off]にしてください。
- Eye-Fiカードのエンドレスモードには対応しておりません。

カメラと他の機器の接続方法を選ぶ [USB接続モード]

(設定メニュー1)▶ USB接続モード

サブメニュー2	用途
オート	カメラを他の機器と接続するたびに、設定方法の選択画面が表示される。
ストレージ	カメラとパソコンをストレージで接続するときに選ぶ。
MTP	カメラとパソコンを接続するときに選ぶ。
プリント	PictBridge対応プリンタと接続するときに設定する。

動作環境

Windows : Windows XP Home Edition/Professional(SP1以降)/Vista/Windows 7
Macintosh: Mac OS X v10.3以降

Windows XP(SP2以上)/Windows Vista/Windows 7 以外の動作環境の場合は[ストレージ]に設定してください。

USBポートのあるパソコンでも、以下の環境では正常な動作は保証されません。

- 拡張カードなどでUSBポートを増設したパソコン
- 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン、および自作パソコン

▶ボタンで電源を入れる [再生ボタン起動]

(設定メニュー1)▶ 再生ボタン起動

サブメニュー2	用途
起動しない	電源は入りません。電源を入れるときは**ON/OFF**ボタンを押してください。
起動する	▶を長押しすると電源が入り、再生モードで起動する。

電源を切る前の撮影モードを保持する [撮影モード保持]

(設定メニュー1)▶ 撮影モード保持

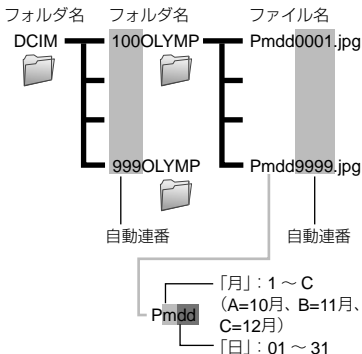
サブメニュー2	用途
する	電源を切ったときの撮影モードを記憶し、次に電源を入れると、その撮影モードになる。
しない	電源を入れると、撮影モードは**P**モードになる。

カメラの電子音を選ぶ・音量を調節する[音設定]

（設定メニュー 1）▶ 音設定

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
操作音種類	1/2/3	カメラの電子音(操作音、シャッター音、警告音)を選ぶ。
操作音量	0/1/2/3/4/5	ボタンを操作するときの音量を選ぶ。
再生音量	0/1/2/3/4/5	画像を再生するときの音量を選ぶ。

画像ファイル名の連番をリセットする[ファイル名メモリー]

（設定メニュー 2）▶ ファイル名メモリー

サブメニュー 2	用途
リセット	カードを入れ替えたとき、フォルダ名とファイル名の連番をリセットする[*1]（カード別に画像を管理するときに便利です）。
オート	カードを入れ替えても、フォルダ名とファイル名の連番を前のカードから継続する(すべての画像のフォルダ名とファイル名を通し番号で管理するのに便利です）。

*1 フォルダ名の連番は「100」、ファイル名の連番は「0001」に戻ります。

画像処理機能を調整する[ピクセルマッピング]

（設定メニュー 2）▶ ピクセルマッピング

- この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安として行ってください。
- 最適な効果を得るため、撮影・再生直後より約1分以上時間を置いて実行してください。処理中にカメラの電源を切ってしまったときは、必ずもう一度実行してください。

画像処理機能を調整するには

[スタート]（サブメニュー 2)表示中に㊀ボタンを押す。

- 画像処理機能のチェックと調整が始まります。

モニタの明るさを調整する[モニタ調整]

（設定メニュー 2）▶ モニタ調整

モニタの明るさを調整するには

① 画面を見ながら△▽で明るさを調整し、㊀ボタンを押す。

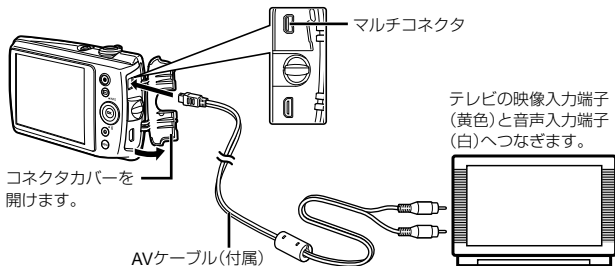
テレビで画像を再生する[テレビ出力]

（設定メニュー 2）▶ テレビ出力

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
NTSC/PAL	NTSC	日本、北米、台湾、韓国などでカメラをテレビに接続して再生する。
	PAL	ヨーロッパ諸国、中国などでカメラをテレビに接続して再生する。
HDMI出力	480p/576p 720p 1080i	優先して出力する再生形式を設定する。TV側が異なる設定のときは自動的に変更される。
HDMI コントロール	Off	カメラで操作する。
	On	テレビのリモコンで操作する。

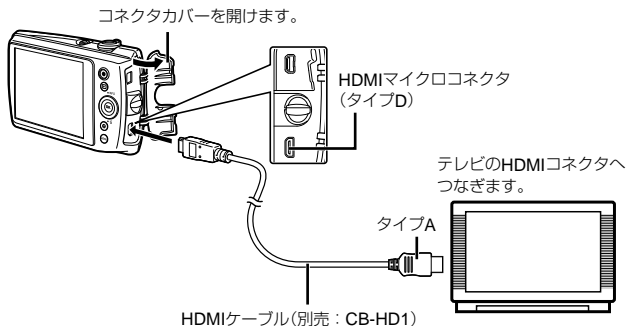
カメラの画像をテレビで再生するには

- AVケーブルで接続する場合

① カメラで、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選ぶ（[NTSC] ／ [PAL]）。
② テレビとカメラを接続する。

- HDMIケーブルで接続する場合

① カメラで接続するときのデジタル信号形式を選ぶ（[480p/576p] ／ [720p] ／ [1080i]）。
② テレビとカメラを接続する。
③ テレビの電源を入れて「入力」を「ビデオ（カメラを接続した入力端子）」に切り替える。
④ カメラの電源を入れて、△▽◁▷で再生する画像を選ぶ。

国と地域により、テレビの映像信号方式は異なります。テレビでカメラの画像を再生する前に、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選びます。

USBケーブルでカメラをパソコンと接続している際は、HDMIケーブルをカメラに接続しないでください。

- テレビの入力切り替えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- AVケーブルとHDMIケーブルの両方がカメラとテレビに接続されている場合は、HDMIが優先されます。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。

画像をテレビのリモコンで操作するには

① [HDMIコントロール]を[On]に設定して、カメラの電源をOFFにする。
② カメラとテレビをHDMIケーブルで接続する。「HDMIケーブルで接続する場合」（p.53）
③ テレビの電源を入れてから、カメラの電源を入れる。

- テレビに表示される操作ガイドにしたがって操作してください。

- お使いのテレビによっては、操作ガイドが表示されてもテレビのリモコンでは操作できない場合があります。
- テレビのリモコンで操作できない場合には、[HDMIコントロール]を[Off]にして、カメラで操作をしてください。

使わないときの電池の消費を抑える [節電モード]

(設定メニュー2) ▶ 節電モード

サブメニュー2	用途
Off	[節電モード]を解除する。
On	撮影中に約10秒間カメラを操作しないとき、モニタを自動的に消すなどして電池の消耗を抑える。

節電モードから復帰するには

いずれかのボタンを操作します。

表示言語を切り替える[言語]

(設定メニュー2) ▶ 言語

サブメニュー2	用途
言語	モニタに表示されるメニューやエラーメッセージの言語を選ぶ。

日付・時刻を設定する[日時設定]

(設定メニュー2) ▶ 日時設定

「表示言語・日時・地域を設定する」(p.19)

日時を確認するには

電源オフ時に?ボタンを押すと、「日時」が約3秒間表示されます。

自宅と訪問先を設定する[ワールドタイム]

(設定メニュー3) ▶ ワールドタイム

[日時設定]を設定していないと、[ワールドタイム]は設定できません。

サブメニュー2	サブメニュー3	用途
自宅/訪問先	自宅	サブメニュー2の自宅(自宅)に設定した地域の日時を表示する。
	訪問先	サブメニュー2の訪問先(訪問先)に設定した地域の日時を表示する。
自宅[*1]	—	自宅(自宅)に設定する地域を選ぶ。
訪問先[*1、2]	—	訪問先(訪問先)に設定する地域を選ぶ。

[*1] サマータイムを実施している地域の場合、△▽で[サマータイム]の設定ができます。
[*2] 地域を選択すると、カメラが自動的に自宅(自宅)との時差を計算し、訪問先(訪問先)の日時を設定します。

カメラ内のデータを復元する[管理情報生成]

(設定メニュー3) ▶ 管理情報生成

フォトサーフィンの再生が正常に動作しない場合にこの機能を実行すると、再生ができるようになります。ただし、[ib](PC用ソフトウェア)を使って作成し、カメラに書き戻したコレクションなどのデータは、カメラ上からは消去されます。
もう一度パソコンから書き戻しをすると、[ib](PC用ソフトウェア)で作成したデータをカメラで再生することができます。

ビューティーメイクの設定を登録する [ビューティー登録]

(設定メニュー 3) ▶ ビューティー登録

画像によっては、補整効果が得られない場合があります。

① △▽で補整設定を選び、Ⓞボタンを押す。
② シャッターボタンを押して、人物を撮影する。

画像は保存されません。

③ 補整項目を選び、Ⓞボタンを押す。

④ 確認画面でⓄボタンを押して保存する。

- 登録が完了します。

プリントする

ダイレクトプリント（PictBridge[*1]）

PictBridge対応プリンタにカメラを接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でご確認ください。

[*1] PictBridgeとは、異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

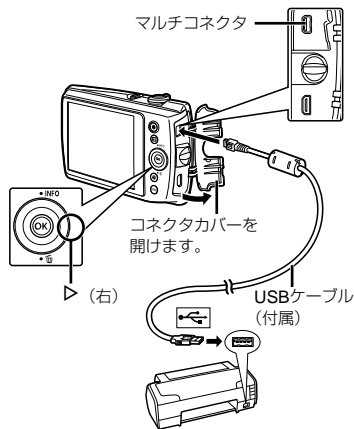
- このカメラで設定できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって異なります。プリンタの取扱説明書でご確認ください。
- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

プリンタの標準設定で画像をプリントする[かんたんプリント]

- セットアップメニューの[USB接続モード]を[プリント]に設定してください。
  [USB接続モード]（p.50）

1 プリントする画像をモニタに表示する。

- 「撮った画像を再生する」（p.24）

2 プリンタの電源を入れてから、プリンタとカメラを接続する。

3 ▷を押してプリントをはじめる。

4 続けてプリントするときは、◁▷で画像を選び、Ⓞボタンを押す。

プリントを終了するには

画像選択の画面が表示された状態でカメラとプリンタからUSBケーブルを抜きます。

プリンタの設定を変えてプリントする［カスタムプリント］

1 ［かんたんプリント］（p.57）の手順1、2を行う。

2 ㊋ボタンを押す。

3 △▽でプリントモードを選び、㊋ボタンを押す。

サブメニュー2	用途
プリント	手順6で選択する画像をプリントする。
全コマプリント	内蔵メモリ／カード内の全画像をプリントする。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトしてプリントする。
全コマインデックス	内蔵メモリ／カード内の全画像をインデックス（一覧）形式でプリントする。
予約プリント*1	プリント予約の内容にしたがってプリントする。

*1 プリント予約された画像がないときは、［予約プリント］は選択できません。「プリント予約（DPOF）」（p.60）

4 △▽で［サイズ］（サブメニュー3）を選び、▷を押す。

［プリント用紙設定］画面が表示されないときは、［サイズ］と［フチ］／［分割数］はプリンタに固有の標準設定でプリントされます。

5 △▽で［フチ］／［分割数］の設定を選び、㊋ボタンを押す。

サブメニュー4（フチ／分割数）	用途
有り／無し*1	用紙の周辺に余白をつけてプリントする（有り）。 用紙いっぱいにプリントする（無し）。
（分割数はプリンタにより異なる）	手順3で［マルチプリント］を選んだときのみ、分割数を選ぶ。

*1 選択できる［フチ］の設定はプリンタによって異なります。

手順4、5で［凸標準設定］を選択すると、プリンタに固有の標準設定でプリントされます。

6 ◁▷で画像を選ぶ。

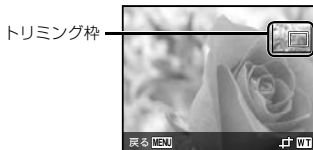
7 表示している画像をプリント予約するときは、△を押す。表示している画像の詳細な設定を行うときは、▽を押す。

詳細な設定を行うには

① △▽◁▷で設定を行い、Ⓞボタンを押す。

サブメニュー5	サブメニュー6	用途
プリント枚数	0～10	プリントする画像の枚数を選ぶ。
日付	有り／無し	画像に日付をプリントする(有り)。 画像に日付をプリントしない(無し)。
ファイル名	有り／無し	画像にファイル名をプリントする(有り)。 画像にファイル名をプリントしない(無し)。
トリミング	(設定画面に進む)	画像の一部を選んでプリントする。

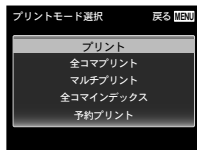
画像の一部を切り出すには[トリミング]

① ズームレバーでトリミング枠の大きさを選び、△▽◁▷で枠を移動した後、Ⓞボタンを押す。

② △▽で[決定]を選びⓄボタンを押す。

8 必要に応じ手順6、7を繰り返して、プリントする画像の選択、詳細な設定、[1枚予約]をする。

9 Ⓞボタンを押す。

10 △▽で[プリント]を選び、Ⓞボタンを押す。

- 画像のプリントがはじまります。
- 全コマプリントモードの場合、[オプション設定]を選択すると、[プリント情報設定]画面が表示されます。
- プリントが終了すると、[プリントモード選択画面]が表示されます。

プリントを中止するには

① [USBケーブルを抜かないでください]の表示中に**MENU**ボタンを押す。

② △▽で[中止]を選び、Ⓞボタンを押す。

11 **MENU**ボタンを押す。

12 [USBケーブルを抜いてください]が表示されてから、カメラとプリンタからUSBケーブルを抜く。

プリント予約(*DPOF*[*1])

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。パソコンやカメラがなくても、プリント予約したカードだけで、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。

[*1] DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。

- プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。
- 他のDPOF機器で設定したDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999画像です。

*1*コマずつプリント予約する［*1*コマ予約］

1 セットアップメニューを表示する。

「セットアップメニュー」(p.9)

2 ▶ (再生メニュー)の[プリント予約]を選び、ⓞⓚボタンを押す。

3 △▽で[1コマ予約]を選び、ⓞⓚボタンを押す。

4 ◁▷で予約する画像を、△▽で予約する枚数を選び、ⓞⓚボタンを押す。

5 △▽で[日時プリント]画面での設定を選び、ⓞⓚボタンを押す。

サブメニュー 2	用途
無し	画像のみをプリントする。
日付	画像と撮影年月日をプリントする。
時刻	画像と撮影時刻をプリントする。

6 △▽で[予約する]を選び、Ⓞⓚボタンを押す。

カード内の画像を全て1枚ずつプリント予約する[全コマ予約]

1 [1コマ予約]（p.60）の手順1、2を行う。

2 △▽で[全コマ予約]を選び、Ⓞⓚボタンを押す。

3 [1コマ予約]の手順5、6を行う。

すべてのプリント予約を解除する

1 [1コマ予約]（p.60）の手順1、2を行う。

2 [1コマ予約]、[全コマ予約]のいずれかを選び、Ⓞⓚボタンを押す。

3 △▽で[解除する]を選び、Ⓞⓚボタンを押す。

1コマずつプリント予約を解除する

1 [1コマ予約]（p.60）の手順1、2を行う。

2 △▽で[1コマ予約]を選び、Ⓞⓚボタンを押す。

3 △▽で[解除しない]を選び、Ⓞⓚボタンを押す。

4 ◁▷で予約を解除する画像を選び、△▽で予約する枚数を「0」にする。

5 必要に応じて手順4を繰り返し、最後にⓄⓚボタンを押す。

6 △▽で[日時プリント]の設定を選び、Ⓞⓚボタンを押す。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

7 △▽で[予約する]を選び、Ⓞⓚボタンを押す。

使い方のヒント

思い通りに操作できない、画面にメッセージが表示されるがどうして良いかわからないときは、以下を参考にしてください。

故障かな？と思ったら

電池

「電池を入れてもカメラが動かない」

- 充電された電池を正しい向きで入れる。
  「電池とカードを入れる」（p.14）、「付属のUSB-ACアダプタで充電する」（p.15）
- 寒さのため一時的に電池の性能が低下していることがあります。カメラから電池を一度取り出し、ポケットに入れるなどして少し温めます。

カード・内蔵メモリ

「メッセージが表示される」

「エラーメッセージ」（p.63）

シャッターボタン

「撮影できない」

- スリープモードを解除する
  カメラは電源オンの状態で、何も操作しないと3分後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、モニタは自動的に消灯します。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。ズームレバーやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。さらに12 分放置すると、カメラは電源オフの状態になります。**ON/OFF**ボタンを押して電源を入れてください。
- 撮影モードにする。
- ϟ（フラッシュ充電）アイコンの点滅が消えるのを待って撮影する。
- 長時間使用し、カメラの内部温度が上がると、自動的に動作を停止するときがあります。電池を取り出し、カメラが冷えるまで待ちます。また使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

モニタ

「見にくい」

- 結露が起こっている可能性があるので、電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影する。

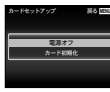
「撮影した画像に光が写っている」

- フラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写りこむことがあります。

日時機能

「設定した日時が元に戻った」

- 電池を抜いた状態で約1日間[*1]放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります。設定し直してください。
  [*1] 初期設定に戻るまでの時間は、電池を入れ替えてからの時間によって異なります。
  「表示言語・日時・地域を設定する」（p.19）

その他

「撮影時にカメラ内部から音がする」

- 撮影可能状態ではオートフォーカス動作を行っているため、カメラを操作しなくてもレンズを動かしている音がすることがあります。

エラーメッセージ

モニタに以下のメッセージが表示されたときは、以下の内容を確認してください。

エラーメッセージ	問題を解決するには
このカードは使用できません	**カードの問題** 新しいカードを入れます。
書き込み禁止になっています	**カードの問題** カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。
撮影可能枚数が0です 内蔵メモリに残量がありません	**内蔵メモリの問題** • カードを入れます。 • 不要な画像を消去します。*1
撮影可能枚数が0です カード残量がありません	**カードの問題** • カードを交換します。 • 不要な画像を消去します。*1
カードセットアップ 戻る MENU 電源オフ カード初期化	**カードの問題** △▽で[カード初期化]を選び、㊋ボタンを押します。続けて△▽で[する]を選び、㊋ボタンを押します。*2
メモリセットアップ 戻る MENU 電源オフ 内蔵メモリ初期化	**内蔵メモリの問題** △▽で[内蔵メモリ初期化]を選び、㊋ボタンを押します。続けて△▽で[する]を選び、㊋ボタンを押します。*2
画像が記録されていません	**内蔵メモリ／カードの問題** 撮影してから再生します。
この画像は再生できません	**選んだ画像の問題** 画像ソフトなどを使いパソコンで再生します。それでも再生できないときは、画像ファイルの一部が壊れています。
この画像は編集できません	**選んだ画像の問題** 画像ソフトなどを使いパソコンで編集します。
電池残量がありません	**電池の問題** 電池を充電します。
接続されていません	**接続の問題** カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続します。

*1 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
*2 データはすべて消去されます。

エラーメッセージ	問題を解決するには
用紙がありません	**プリンタの問題** プリンタに用紙を補充します。
インクがありません	**プリンタの問題** プリンタにインクを補充します。
紙づまりです	**プリンタの問題** 紙づまりを解消します。
プリンタの設定が変更されました[*3]	**プリンタの問題** プリンタを使用できる状態に戻します。
プリンタエラーです	**プリンタの問題** カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してからもう一度電源を入れ直します。
この画像はプリントできません[*4]	**選んだ画像の問題** パソコンなどを使いプリントします。

[*3] プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をすると表示されます。プリントの設定中は、プリンタの操作をしないでください。

[*4] 他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。

撮影のヒント

イメージした通りに写真を撮るための撮影方法がわからないときは、以下を参考にしてください。

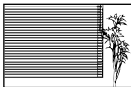
ピント

「狙ったものにピントを合わせたい」

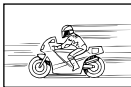
- **画面の中心以外にある被写体を撮る**
  被写体と同じ距離にあるものにピントを合わせたあと、構図を決めて撮影します。
  半押し(p.21)
- **[AF方式](p.40)を[顔検出・iESP]にする**
- **[自動追尾](p.41)で撮る**
  動いている被写体に自動でピントを合わせ続けて撮れます。
- **オートフォーカスが苦手な被写体を撮る**
  以下のときは、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりとしたものにピントを合わせたあと(シャッターボタン半押し)、構図を決めて撮影します。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがあるとき

縦線のない被写体[*1]

[*1] カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。

遠い被写体と近いものが混在するとき

動きの速い被写体

ピントを合わせたいものが中央にない

手ぶれ

「ぶれない写真を撮りたい」

- **[手ぶれ補正]（p.41）を使って撮る**
  ISO感度を上げなくても撮像素子が手ぶれを補正する動きをします。高倍率ズームで撮影するときにも有効です。
- **ムービー撮影時は[手ぶれ補正]（p.41）を使って撮る**
- **SCNモードの[スポーツ]（p.29）で撮る**
  [スポーツ]を選ぶと、速いシャッター速度で撮影できるので、被写体ぶれにも有効です。
- **高いISO感度で撮る**
  高いISO感度を選ぶと、フラッシュを使えない場所でも速いシャッター速度で撮影できます。
  「撮影感度を選ぶ」（ISO感度）（p.36）

露出（明るさ）

「イメージ通りの明るさで撮りたい」

- **逆光の被写体を撮る**
  逆光でも顔や背景を明るく撮れます。
  [暗部補正]（p.40）
- **[顔検出・iESP]（p.40）で撮る**
  逆光でも露出が顔に合い、明るく撮れます。
- **[スポット]（p.41）測光で撮る**
  画面中央の被写体に明るさをあわせて撮影するので、背景の光に影響されません。
- **[強制発光]（p.23）フラッシュで撮る**
  逆光でも被写体が暗くならずに撮れます。
- **白い砂浜・雪景色をきれいに撮る**
  SCNモードの[ビーチ＆スノー]で撮影します。（p.29）

- **露出補正(p.34)して撮る**
  画面を確認しながら明るさを調節して写します。通常、白い被写体(雪など)を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、プラスに補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆にマイナスに補正すると効果的です。

色合い

「見た目と同じ色で撮りたい」

- **[ホワイトバランス](p.35)を選んで撮る**
  通常は[オート]でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては設定を変えて試してみるほうが良いことがあります。(晴天下の日陰や、自然光と照明光が混ざってあたるとき、など)

画質

「きめ細かい写真を撮りたい」

- **光学ズームまたは超解像ズームで撮る**
  [デジタルズーム](p.41)を使わないで撮影します。
- **低いISO感度で撮る**
  [ISO感度]を高くすると、ノイズ(本来そこにはないはずの色の小さな点や色むら)が発生し、画像が粗く見えます。「撮影感度を選ぶ」(ISO感度)(p.36)

パノラマ

「コマがきれいにつながるように撮りたい」

- **パノラマ撮影時のヒント**
  カメラを中心に回転させて撮影すると画像のずれが発生しにくくなります。特に近いものを撮影するときはレンズの先端を中心に回転させるとよい結果が得られます。[パノラマ](p.31)

電池

「電池を長持ちさせたい」

- **[節電モード](p.55)を[On]にする**

再生・編集のヒント

再生

「内蔵メモリ/カード内の画像を再生したい」

- **内蔵メモリ内の画像を再生するときは、カードを抜く**
  - 「電池とカードを入れる」(p.14)

「ハイビジョンテレビで高画質で見たい」

- **HDMIケーブル(別売)でカメラとテレビをつなぐ**
  - 「テレビで画像を再生する」(p.52)

編集

「静止画に録音済みの音声を消したい」

- **画像の再生時に、静かなところ(無音状態)で追加録音をする**
  「静止画に音声を追加する[録音]」(p.45)

資料

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1 ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5 年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。
- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニタ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロワー(市販)でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

! 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

! レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。

電池/ USB-ACアダプタ

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やUSB-ACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

電池／USB-ACアダプタについて

- 電池は、当社製リチウムイオン電池（LI-50B）1個を使用します。それ以外の電池は使用できません。

注意：指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。使用済み電池は取扱説明書の「電池について」（p.75）に従って廃棄してください。

- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、モニタで画像を表示する。
  - プリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 付属のUSB-ACアダプタF-2ACはこのカメラ専用です。付属のUSB-ACアダプタを他のカメラに接続して電池を充電することはできません。
- 付属のUSB-ACアダプタF-2ACはこのカメラ以外の機器に接続して使用しないでください。
- プラグインタイプのUSB-ACアダプタについて：付属のUSB-ACアダプタF-2ACは垂直、または床に水平に正しく据え付けてください。

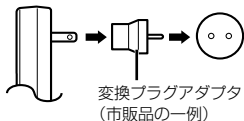
別売のUSB-ACアダプタを使う

本製品は別売のUSB-ACアダプタF-3ACが使用できます。専用のUSB-ACアダプタ以外は使用しないでください。F-3ACを使用する際は、必ずカメラに付属のUSBケーブルを使用してください。
また、USB-ACアダプタ付属の電源コードはUSB-ACアダプタ専用です。他の製品に使用しないでください。
F-3ACでの撮影はできません。

別売の充電器を使う

付属の充電池は充電器（UC-50：別売）を使って充電することもできます。

海外での使用について

- 充電器とUSB-ACアダプタは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100 ～ 240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプタ（市販）が必要になる場合があります。

詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

- 市販の海外旅行用電子変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器とUSB-ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。

*Eye-Fi*カードについて

- 市販のEye-Fiカードを使います。
- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなることがあります。

カードを使う

カードや内蔵メモリは、撮影画像を記録するためのフィルムにあたるものです。記録された画像(データ)は、消去やパソコンでの加工を自由にできます。内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換することができませんが、カードはカメラから取り出したり、交換することができます。また容量の大きなカードを使用すると、記録できる枚数を増やすことができます。

このカメラで使用できるカード

SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード
(動作確認済みカードは当社ホームページをご確認ください。)

SD/SDHC/SDXCカードの書き込み禁止スイッチ

SD/SDHC/SDXCカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、初期化ができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。

画像の保存先を確認する

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、モニタで確認できます。

使用メモリ表示
IN：内蔵メモリ使用
SD：カード使用

［内蔵メモリ初期化］／［カード初期化］や［1コマ消去］、［選択消去］、［全コマ消去］を行っても、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

カードの読み出し／書き込み動作

撮影時のみ、データの書き込み中に使用メモリ表示が赤く点灯します。データの書き込み中は絶対に電池／カード／コネクタカバーを開けたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが使用できなくなることがあります。

内蔵メモリとカードの撮影可能枚数(静止画）／連続撮影可能時間(ムービー）

- 撮影可能枚数および連続撮影可能時間は目安です。実際の撮影可能枚数および連続撮影可能時間は、撮影条件や使用するカードによって異なります。
- 内蔵メモリを初期化した際の撮影可能枚数です。［内蔵メモリ初期化］／［カード初期化］（p.49）

静止画

画像サイズ	圧縮モード	撮影可能枚数	
		内蔵メモリ	SD/SDHC/SDXCカード（4GBの場合）
12M 3968×2976	FINE	8枚	663枚
	NORM	15枚	1,298枚
8M 3264×2448	FINE	11枚	968枚
	NORM	23枚	1,877枚
5M 2560×1920	FINE	19枚	1,544枚
	NORM	38枚	3,128枚
3M 2048×1536	FINE	29枚	2,346枚
	NORM	59枚	4,692枚
2M 1600×1200	FINE	48枚	3,935枚
	NORM	93枚	7,624枚
1M 1280×960	FINE	74枚	5,809枚
	NORM	139枚	11,087枚
VGA 640×480	FINE	249枚	20,314枚
	NORM	412枚	30,452枚
16:9L 3968×2232	FINE	10枚	877枚
	NORM	21枚	1,718枚
16:9S 1920×1080	FINE	45枚	3,697枚
	NORM	87枚	6,777枚

ムービー

画像サイズ	連続撮影可能時間	
	内蔵メモリ	SD/SDHC/SDXCカード（4GBの場合）
1080 1920×1080[*1]	18秒	24分45秒
720 1280×720[*1]	26秒	29分
VGA 640×480	1分9秒	96分15秒

[*1] 連続して撮影できる時間は、最長29分です。

カードの容量に関わらず、1度に記録できるムービーの最大ファイルサイズは4GBまでになります。

撮影枚数を増やすには

不要な画像を消去するか、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存してから、内蔵メモリ／カードの画像を消去します。[1コマ消去]（p.25、47）、[選択消去]（p.47）、[全コマ消去]（p.47）、[内蔵メモリ初期化］／［カード初期化］（p.49）

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュやLED（AFイルミネータ含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**
- **カメラで日光や強い光を見ない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
  以下のような事故が発生するおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
  火災・感電の原因となります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
- **連続発光後、発光部分に手を触れない**
  やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電・けがをするおそれがあります。
- **内部に水や異物を入れない**
  火災・感電の原因となります。
  万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- **通電中のUSB-ACアダプタ、充電中の電池に長時間触れない**
  充電中のUSB-ACアダプタや電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
- **専用の当社製リチウムイオン電池、充電器、USB-ACアダプタ以外は使用しない**
  発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

- **SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れない**
  その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
  火災・やけどの原因となることがあります。
  やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
  (電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- **濡れた手でカメラを操作しない**
  故障・感電の原因となることがあります。また、USB-ACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対しないでください。
- **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
  けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところに放置しない**
  部品の劣化・火災の原因となることがあります。
- **低温下でカメラの金属部に長時間触れない**
  皮膚に傷害を起こすおそれがあります。低温下では、できるだけ素手で扱わず手袋などを使用してください。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- **火の中に投下したり、加熱しない**
  発火・破裂・火災の原因となります。
- **端子を金属類で接続しない**
- **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
  ショート、発熱し、やけど·けがの原因となります。
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**
- **カメラから電池が取り出せなくなった場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。**
  電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱·破裂のおそれがあります。

⚠ 警告

- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  感電・故障の原因となります。
- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・液漏れの原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
  火災・感電の原因となります。
  販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

- **電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。

USB-AC**アダプタについてのご注意**

⚠ 危険

- **USB-ACアダプタを濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **USB-ACアダプタを布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **USB-ACアダプタを分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **USB-ACアダプタは指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。
  USB-ACアダプタが、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ずUSB-ACアダプタ本体を持つ**
  USB-ACアダプタ本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

- **お手入れの際は、USB-ACアダプタ本体をコンセントから抜いて行う**
  USB-ACアダプタ本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると、磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

- 当社製リチウムイオン充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 長期間保存する場合は、涼しいところに保管してください。

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
  詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(http://www.jbrc.com)をご覧ください。

Li-ion 00

モニタについて

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがってモニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品のモニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-ACアダプタ(USB-ACアダプタ対応機種のみ)は、必ず、当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。
SD/SDHC/SDXCロゴは商標です。
Eye-FiはEye-Fi,Incの登録商標です。
暗部補正は、Apical Limitedの特許技術を使用しています。

apical

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。
第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、カメラに同梱されたCD-ROMまたは以下のURLのウェブサイトに必要に応じて準備されたsoftware notice PDFファイル内に見出すことができます。
http://www.olympus.co.jp/en/support/imsg/digicamera/download/notice/notice.cfm

Powered by ARCSOFT.

仕様

カメラ

形式	:	デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式		
静止画	:	デジタル記録、JPEG(DCF準拠)
対応規格	:	Exif 2.3、DPOF、PRINT Image Matching III 、PictBridge
3D静止画	:	MPフォーマット準拠
静止画音声	:	Waveフォーマット準拠
動画	:	MOV H.264 リニアPCM
記録媒体	:	内蔵メモリ、SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード
カメラ部有効画素数	:	1200万画素
撮像素子	:	1/2.3型CMOS(原色フィルター)
レンズ	:	オリンパスレンズ4.4 ～ 35.2mm、F3.3 ～ 5.9 (35mmフィルム換算25 ～ 200mm相当)
測光方式	:	撮像素子によるデジタルESP 測光、スポット測光
シャッター	:	4 ～ 1/2000秒
撮影範囲		
通常	:	0.6m ～∞(W)、1.0m ～∞(T)
マクロ時	:	0.1m ～∞(W)、0.9m ～∞(T)
スーパーマクロ時	:	0.02m ～ 0.6m(f=5.8mm(固定))
モニタ	:	3.0型(インチ) TFTカラー液晶、460,000ドット
コネクタ	:	マルチコネクタ(DC入力端子/USB端子/AV出力端子) / HDMIマイクロコネクタ(タイプD)
自動カレンダー機能	:	2000 ～ 2099年の範囲で自動修正

使用環境		
温度	:	0℃～40℃（動作時）/-20℃～60℃（保存時）
湿度	:	30%～90%（動作時）/10%～90%（保存時）
電源	:	専用リチウムイオン電池（当社製LI-50B）1個または、別売USB-ACアダプタ
大きさ	:	幅104.4mm × 高さ59.9mm × 厚さ26.1mm（突起部を除く）
質量	:	154g（電池／カード含む）

リチウムイオン充電池LI-50B

形式	:	充電式リチウムイオン電池
Model No.	:	LI-50BA/LI-50BB
公称電圧	:	DC3.7V
公称容量	:	925mAh
充放電回数	:	約300回（使用する条件により異なります。）
使用環境		
温度	:	0℃～40℃（充電時）

USB-ACアダプタ（F-2AC）

Model No.	:	F-2AC-2B/F-2AC-1C/F-2AC-3C/F-2AC-4C/F-2AC-5C/F-2AC-1D/F-2AC-3D/F-2AC-4D/F-2AC-5D/F-2AC-6D
定格入力	:	AC100～240V（50/60Hz）
定格出力	:	F-2AC-2B: DC5V、500mA F-2AC-1C/F-2AC-3C/F-2AC-4C/F-2AC-5C/F-2AC-1D/F-2AC-3D/F-2AC-4D/F-2AC-5D/F-2AC-6D: DC5V、550mA
使用環境		
温度	:	0℃～40℃（動作時）/–20℃～60℃（保存時）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿２の３の１ 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。

また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問合せ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。

オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル

0120-084215　携帯電話・**PHS**からは **042-642-7499**

FAX　042-642-7486　調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）も、オンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様ご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」　フリーダイヤル **0120-971995**

営業時間：平日8:00 ～ 21:00　土・日・祝日9:00 ～ 17:00（指定休業日を除く）

※記載内容は変更されることがあります。

VM330901